

第4回国際フォーラム アメリカの看護に学ぶ

「アメリカで看護師として働くということ」

角田みなみ氏

Nursing Practice in the US(アメリカにおける看護実践)

レベッカ・パリゼック氏

「患者と家族を含めた終末期のケア選択へのサポート」

竹熊麻子氏

Ethical Case Studies in Terminal Care

(ケーススタディ—終末期のケアの倫理的考察)

デйна・ダーモディー氏

日時 2015年6月17日(水)13:20-16:30

会場 日本赤十字九州国際看護大学 オーヴァルホール

対象 大学教員、臨床看護師、看護管理者など

参加 無料

米国聖アンソニー看護大学から4人の講師をお招きし、アメリカにおける看護実践についてお話いただきます。

臨床に即した興味深いテーマですので、多くの方々の参加をお待ちしています。

[申込締切] 6月12日(金)

[申込先] 日本赤十字九州国際大学国際看護実践研究センター

Fax: 0940-35-7021

[問合せ先] E-mail: kokusai@jrckicn.ac.jp

(氏名・所属・連絡先を明記してください)



講演予定者の紹介

第1部 13:20 ~ 14:50



「アメリカで看護師として働くということ」 角田 みなみ先生

看護師、クリニカルナースリーダー、看護学修士



「アメリカにおける看護実践」 レベッカ・パリゼック先生

看護師、聖アンソニー看護大学 臨床博士課程
(聖アンソニーメディカルセンター)

第2部 15:00 ~ 16:30

「患者と家族を含めた終末期のケア選択へのサポート」 竹熊 麻子先生

看護学博士、クリニカルナースリーダー
(OSF聖アンソニーメディカルセンター)
プロフェッショナルディベロプメント、マグネットプログラム、研究、
緩和ケアサービス・ディレクター



「ケーススタディー終末期のケアの倫理的考察」 ダイナ・ダーモディー先生

クリニカルナースリーダー(CNL)、看護学修士
(聖アンソニー看護大学 アシスタントプロフェッサー)



- ・英語の講演には通訳が付きます。
- ・講演内容は、当日変更の可能性もあります。ご了承下さい。詳細につきましては、6月初旬に本学のホームページに掲載いたしますので、ご確認ください。